

式亭小三馬作

前編

Gōkan: (No. 0
Ryūō Tarō Mo
Book 1--12.

~ 13
3698
1





妖婦桂

和田津三郎正氏

13
3698
號卷

龍王太郎英雄譚 前編

式亭小三馬作
香蝶樓豊國画
弘化三年丙午
孟春新彫稗史

初編全四冊



江戸下谷池之端仲町

藤岡屋慶次郎

上梓

綾羅錦繡を身小粧へ醜婦の唇の中へ入る人わりの襪襪の衣を身小
 又用妓も不售更あり容顔よく衣装もよれ女も則世名がは
 先生の巧案を精工完備の袋入且優長と姑くおて吾も齊し
 をいふは尔乎波あらむ向ふ不見書著せ草子の中周刷装釘
 念をいれ形容を小町の美本に製れをさうら面白さう
 殊更魂膽つくと書れし由利を射る書舗が早いを専一脱字由華誤
 由かりゆかまの市せを形容を醜き無塩君の心不賢き作意の
 茲小目のつく藤岡屋が一番今年に浮費で下年と上手ふらう
 るを本町と秀句交の淫文を得りか
 馬光刻美知の幕の内明てまうまの作者の戯房院本小雑劇の脚本
 漢と倭の奇談怪説各文佳話を撰取何でも二十八文字屋加之十九
 文音短文彼醜婦不美服を馬士おも意匠のそくむの白債趣向の前後
 氣小く校正お婢子育余國あある大江戸の筆始の花娘春待顔の作り

弘化三年丙午春新版 本町庵主式亭小三馬戲題



蘭の家来

南蔵

郷士蘭首右衛門
女見阿梅

於此



和田津
龍九正辰

神智頼敏群親と存し長く
七雄と従へ乱臣賊子を亡く大功
名譽と傳へ智仁勇兼備の英雄
皆その威徳下伏し自ら龍太郎の尊称あり

この世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...



此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...

これにて... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...

この世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...

此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...

これにて... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...



此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋... 此の世にありては... 別乾坤... 金殿玉橋...

四世のついでに... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...

龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...

龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...



龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...

龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...

式亭三馬店
製茶茶庄
善徳の
思ふ
代百文
何れ
年外
あま
とま
あま
さる
け
代五十文
世
名



龍王の御徳を... 龍王の御徳を... 龍王の御徳を...

香蝶樓豊国画

後編

池の端
藤應板



龍王太郎英雄譚

初編





龍王
 後編
 龍女の意慕ふ
 二郎正統運の命
 是這作者式亭
 小三馬
 藤慶版
 是這画工香蝶楼

龍王

龍王の部といふ甲斐の山麓
 その大和町の歴世郷士
 郡主勝るの松右衛門
 いやしん夫
 古主の仁智小
 是這大盤吉凡松
 是這画工香蝶楼
 豊國



大に死の光景ををりて
 ひろくさるるのついでに
 せがれぬをうけてふ
 さやけけりてふと
 なぐひけれはまらま
 ひふまらせしむら
 のとととととととと
 まさと死の父があんびを
 とうんとせしむらと
 まこととてまら大せ
 どうやとてまらとて
 こととまらまらとて
 はんのあつたるべし
 はんのあつたるべし



さやけけりてふと
 なぐひけれはまらま
 ひふまらせしむら
 のとととととととと
 まさと死の父があんびを
 とうんとせしむらと
 まこととてまら大せ
 どうやとてまらとて
 こととまらまらとて
 はんのあつたるべし
 はんのあつたるべし

10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

弘化四年未初春松林堂梓目録

ついで大世虎松なり後次ひんく
ゆんちとくしむるふんふん丸ら
てんせのしひひつにけくもささ
かをたる丸後次ひんちひんち
けん中のななわけやう
けんちやくたのめ
らん日こそ
らん日こそ
一人のころん
あんのころん
あんのころん
たすま
たまふと功ふ
のころんこれぞ
武やうのあつそやふゆ
あまふとあつそやふゆ
さるひとらえのうりひとら
たうけつあまふこのれんち子候を
不ろり天下ふその名とかやせ
龍王をたて虎まう丸と
このあ人のころん



小二馬作
豊國画

龍王太郎英雄譚

二編 式亭小二馬作
三編
四編 一陽齋豊國画

五色深草環册子

初編 本町庵小二馬作
二編 歌川豊國画

飾可福助

玉蘭齋作
貞秀画

花苞梅春嵐

式亭小二馬作
一雄齋國輝画

忠孝末廣扇

台西堂作
歌川芳虎画

大島臺猫娘入小柳下亭種員作

浪上大物合戦 本一勇齋國芳画

當世推故傳

立川馬馬作
初編 編
歌川豊國画

令

江戸通油町南側
藤岡屋
廣次郎板



龍王太郎第二編

弘化四年丁未孟陽

上



龍王太郎英雄譚 第二編
 式亭小三馬作
 一陽齋豊國画
 弘化 丁未 新春
 上之巻
 板屋 藤岡



吁稗史の世あるや炎漢祚を失ひて群雄竝興る小芥片々名作
 の撰者の黄泉客とるるを退けし當今流行雄の作者冊子の世
 界と一統せんと各新と挑む奇を競ふそが中在下如は無能の當
 宅本町ふ彼蜀帝の左右と呼さし関張るるぬ勘定第一帳合の間
 間ふ綴るも拙漢好奇で原來潤筆の高金の俗るるま雅なり
 都て中位の陋本撰者るれば呉魏蜀の采の見る由るし書舖
 の名徳亀戸の高居と三顧諸君自高名の画工をカ小龍王太郎
 乃二集の稿本まらぬ筆小書由醉狂先生ぶく小あなぐ来たる藤
 岡屋がるんでも早いぐりくと高拙かやのむ上梓をも愚蒙此作者
 の身ふとりてハ亦より余紙を塞まぬ

弘化三年丙午仲夏稿成
 四年丁未孟陽發市

式亭小三馬戲題

統五二

江戸のあ製法の間



山路右内女兒

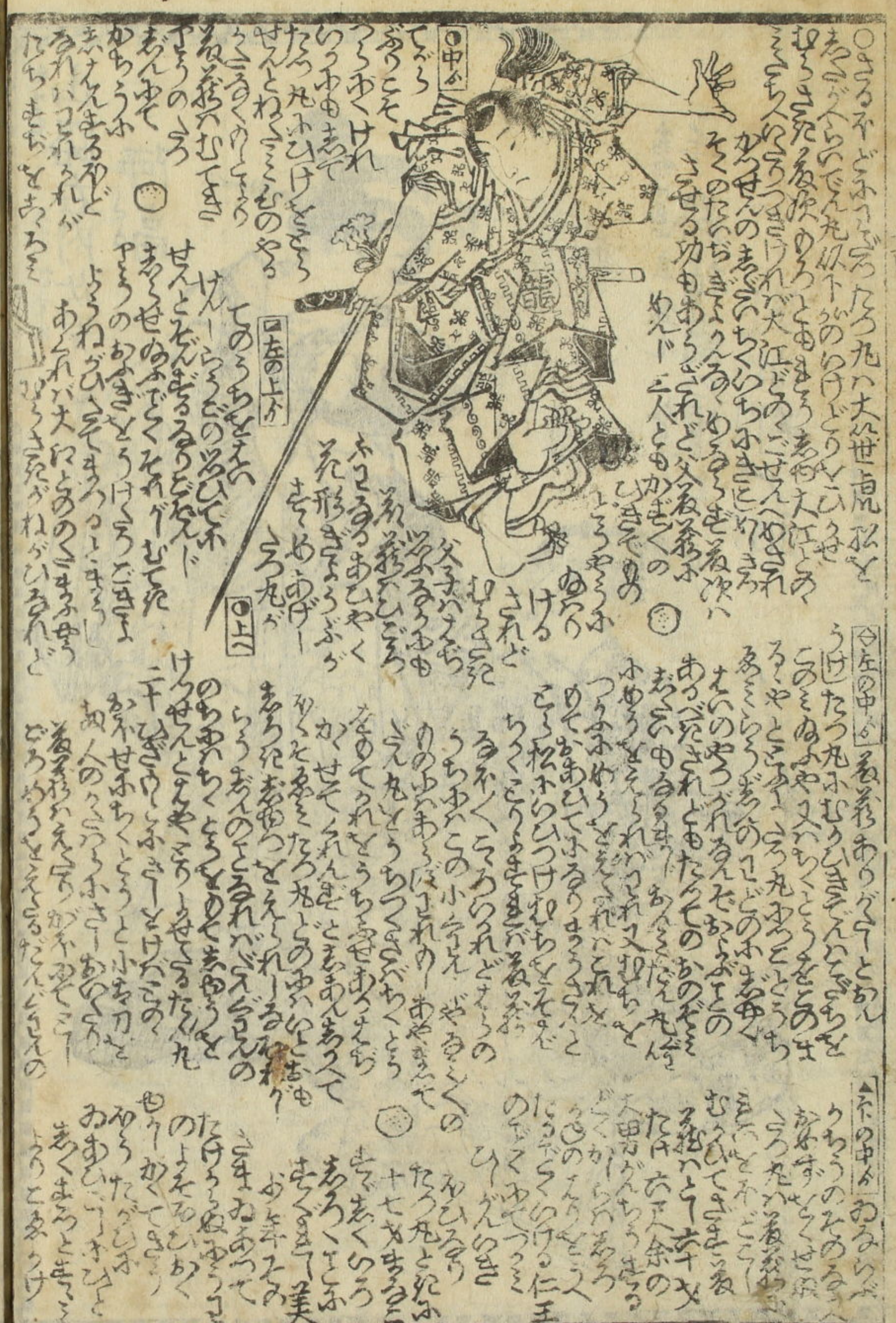
阿高

手跡指南の浪士
園部判次郎



浪士
秋平
男
来太郎

雷電丸の
一子
盗
賊の首領



ついでに... 二十の... たりと...

あつて... けり... その... ちひ... せり...



ついでに... けり... ちひ... せり...



ついでに... けり... ちひ... せり...

ついでに... けり... ちひ... せり...



あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ

あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ



あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ

あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ

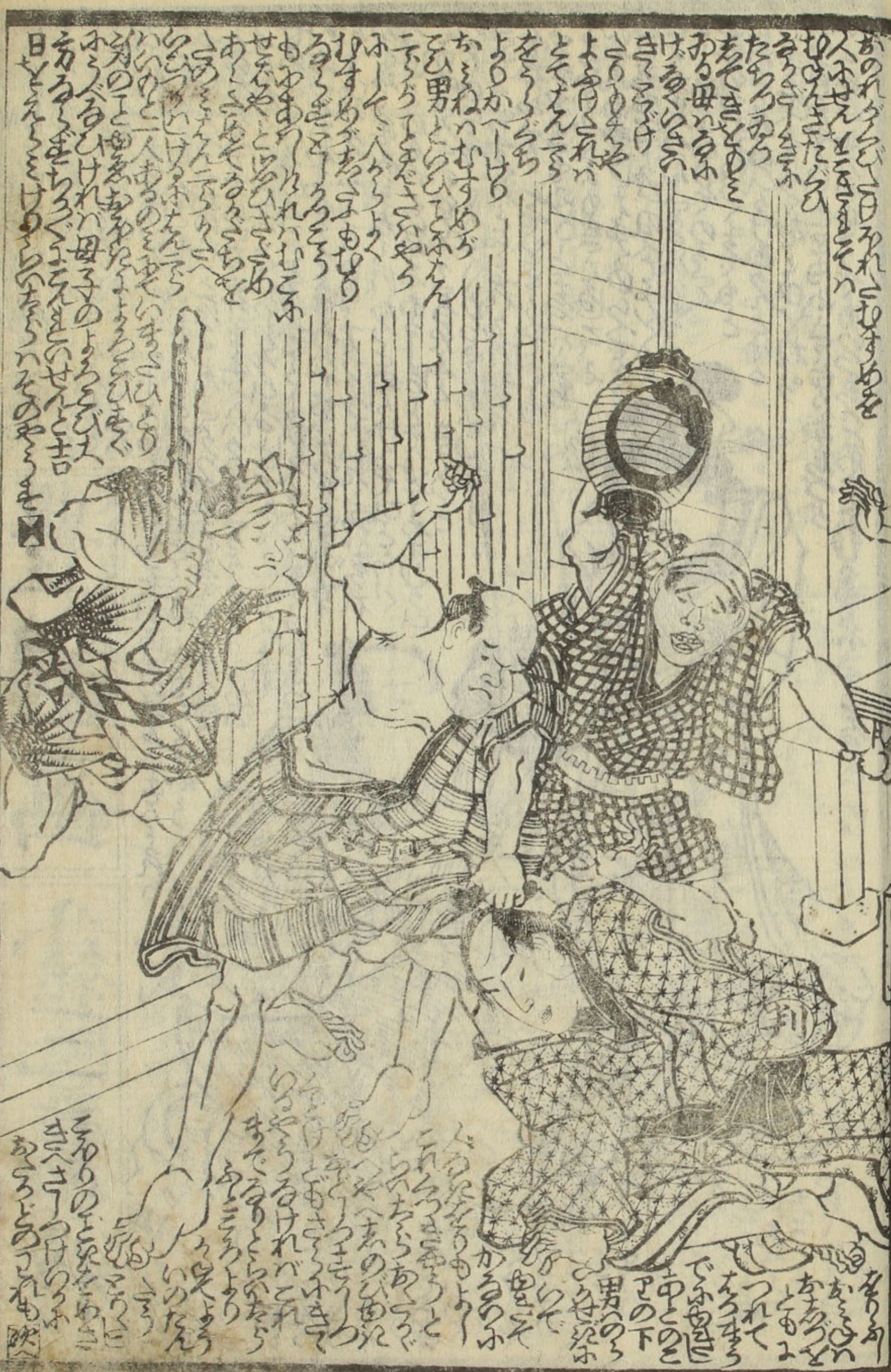


あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ
あつちのうらみ
かたがたのうらみ



うしろのけしき...
あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...

あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...



あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...

あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...
あつぱりの...

弘化五年戊申新刊目録

豊國画 小三馬作



落話江戸嬉笑

式亭小三馬校并序
福真三笑作
雄齋國輝画

此の落話江戸嬉笑は、式亭小三馬の筆によるもので、江戸の人情を巧みに描き出している。雄齋國輝の画は、その趣意をよく表現している。全一冊、松林堂主人欽白。

狂歌笑算

初編 全一冊

松林堂主人欽白

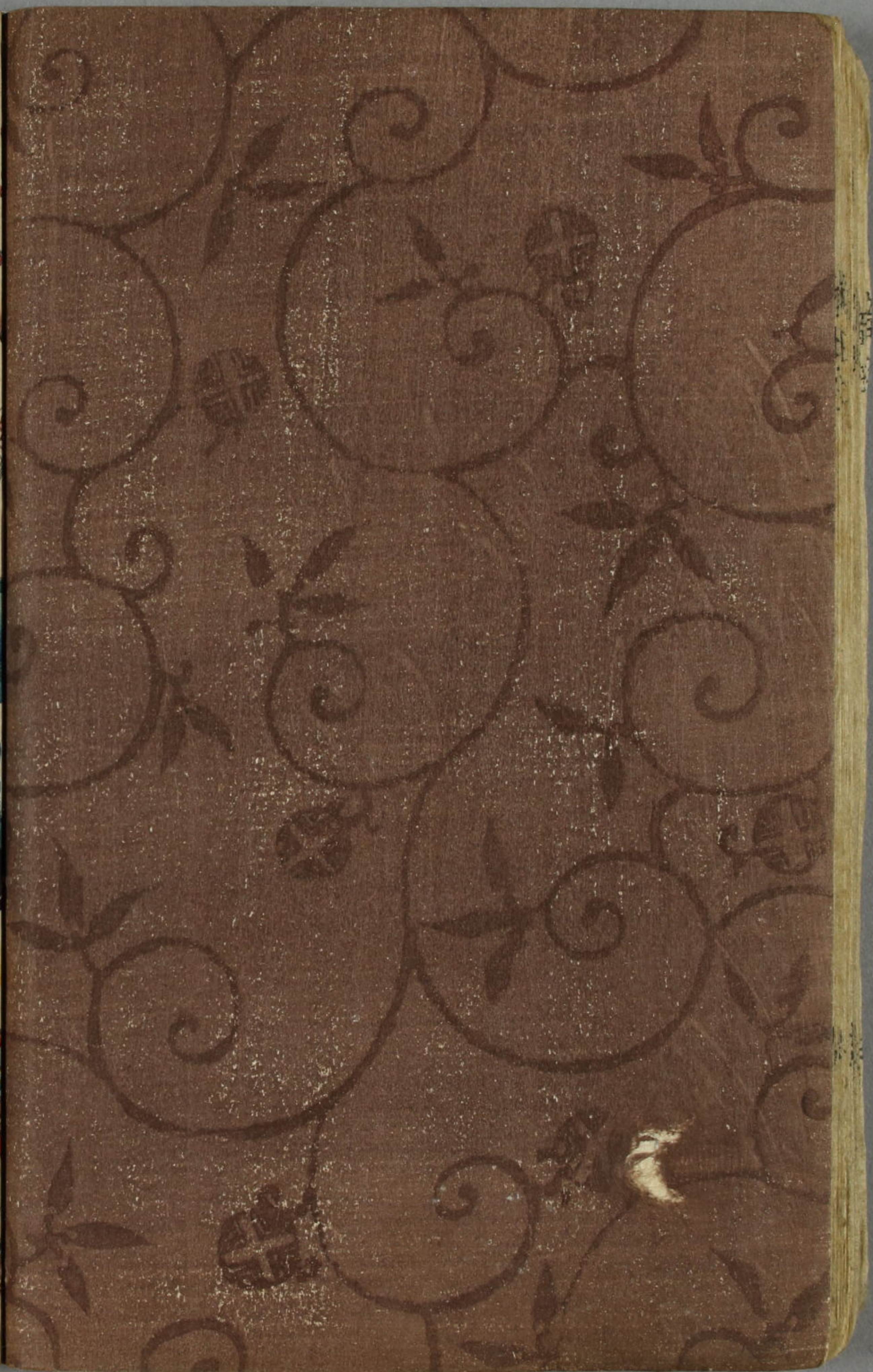
紅毛 奇方 妙あらし粉 桐箱つ入代百廿四文 大包五文小包廿四文

江戸通油町南側中程 藤岡屋慶次郎

式亭小三馬作
一陽齋豊國画



板慶藤



龍王 太郎 二編 下の巻
 小三馬作 豊国画
 弘化丁未春 松林堂壽梓



龍王 太郎
 二編 下の巻
 小三馬作 豊国画
 弘化丁未春 松林堂壽梓

上
 下

高
 峯





此の丸は...
 月...
 天女丸...
 小児金湯丸...
 世小児の...
 かる...



此の丸の...
 五...
 百文...
 小児...
 大色...
 小色...
 何...
 ち...

此の丸は...
 月...
 天女丸...
 小児金湯丸...
 世小児の...
 かる...



此の丸の...
 五...
 百文...
 小児...
 大色...
 小色...
 何...
 ち...

龍王太郎英雄譚

四編 式亭小三馬作
五編 一陽齋豐國画
六編

五色深苙環冊子

二編 本町庵小三馬作
三編 歌川豊國画

繪本東越軍記

玉蘭齋擇
初編 編
五雲亭貞秀画

花梅春風

式亭小三馬作
一雄齋國輝画

此書其昔武田上杉武勇天下に滿て商家學を
筆に信州川中島はかりに又其家々は雷名の
諸將あるを一代の克実とありて我日本の
英雄なまゝの失あるがらの画本なり

大島臺捕姫入小柳下亭種員作
浪上大物合戦 本一勇齋國輝画

新當世推故傳

立川馬馬作
歌川豊國画

命

江戸通油町南側
藤岡屋
慶次郎板



小三馬作
豊國画

此書は龍王太郎の英雄譚を
四編五編六編に分けて
式亭小三馬作一陽齋
豊國画玉蘭齋貞秀画
花梅春風浪上大物合戦
大島臺捕姫入小柳下亭種員作
新當世推故傳立川馬馬作
歌川豊國画命江戸通油町南側
藤岡屋慶次郎板

